

令和4年度

安全委員会だより



令和5年1月16日
相模原中等教育学校 PTA
会 長 飯田 亜矢
安全委員長 小峰 礼子

厳寒の候、保護者の皆さまにはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

安全委員会では、生徒を取り巻く環境に配慮し様々な活動を通して「安全」について考え、その活動の様子を保護者の皆さまにお知らせいたします。

今年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症流行の状況が見通せないことから、3密を避けるために講演会などの催しものは自粛しました。一方、今年は市の交通安全デーに参加して生徒の安全のために登校時の見守りを行うとともに、相模原地区交通安全対策会議や相模原地区交通安全大会に出席しました。

交通安全デーに参加

この取り組みでは、登校時に通学路（主に相模大野交差点周辺、中央公園北側横断歩道）で交通安全指導を行いました。そこで、いくつか注意点が挙がりましたのでご報告いたします。

- 横断歩道を通行する時に、走って渡ったり、横断歩道の手前から横切ろうとする様子も見られる。
→思わぬ事故に繋がる可能性があるため、心に余裕をもって登校するよう気を付けてください。
- 車には気を付けるが、自転車やバイクへの意識が少ない。
→駅方面へ向かう自転車やバイクもスピードは出ていて危険なこともあるので、気を付けることと、自分が自転車に乗る場合も歩行者に気を付けて運転してください。



- 歩道が狭いため信号待ちの時に一般の通行人の妨げになっていることがある。
→歩道に広がらないよう意識し、できれば端に寄って信号待ちをしてください。

相模原地区交通安全対策会議

第1回が6月25日に神奈川総合産業高等学校にて開催され、自転車事故に関し、相模原南地区は危険地域に指定されていることもあり、改めて生徒への安全に対する周知徹底の必要性を確認しました。10月8日開催予定だった第2回は書面開催となり、交通安全標語の選考等がありました。相模原中等教育学校からは、安全委員会の各委員から標語を募り提出しました。第3回は1月21日開催予定です。

県高P連 相模原地区交通安全大会

11月25日に相模原地区交通安全大会「命より大切なものってありますか？」が開催されました。生徒、職員、PTA関係者などが参加し、交通安全の啓発に取り組みました。

生徒研究発表では、神奈川総合産業高等学校、相模原弥栄高等学校、津久井高等学校が交通安全意識を高めるための取組みや、自転車走行の現状と対策についての発表を行いました。各校ともグラフや写真を使って、とてもわかりやすく説明していました。

PTAからは、神奈川県総合産業高等学校PTAの皆さんの活動として、1年生が入学すると、事故に遭遇した時のための『セイフティカード』を配布する取組みの発表がありました。事故発生時に気が動転して必要な行動が取れなくなった時のために、学生証や財布と一緒にカードを携行して、連絡先や取るべき行動を記載しておくことで、万が一、事故が起きてしまった際に備えることができます。事故が起きないことが一番ですが、緊急時の対応をご家庭でも話し合われてはいかがでしょうか？

標語川柳最優秀賞

高校生の部（上溝南高等学校）

落とすのは 命じゃなくて 速度でしょ

PTAの部（相模原弥栄高等学校）

自転車も ハンドル握れば 運転手



交通安全ポスターと標語の表彰が行われ、最後に代表の生徒が交通ルールを遵守し、思いやりの気持ちを大切にし、交通安全に努めることを宣言して、閉会しました。

本校生徒さんも応募されてました！！

